

第41回理事会・第22回評議員会報告書

(財)おかやま環境ネットワーク

日時：2008年4月12日(土) 10:00~12:00

出席：理事会=13名(内委任5)、評議員会14名(内委任7)、監事2名

議長：理事会=青山、評議員=奥田 議事録署名人：理事会=太田、近藤、評議員会=榊、日野

〔報告・承認事項〕

1. 事業報告など

2007年度の環境講座のまとめが報告されました。参加者は全期受講25名、昨年度からの継続受講生26名(96講義)、全講座修了者21名でした。2006年度より講座内容を刷新した結果、参加者数はねらいどおり増となりました。支出総額は156,388円で、環境ネットワーク負担は、27,888円でした。

2007年度企業環境塾のまとめが報告されました。5社10名の参加で全員が修了しました。5社中4社は第1回目から継続して受講していますが、年々受講者が減少しています。企業部会で企画の見直しをすすめます。収支は、わずかな黒字でした。

環境家計簿PJの報告がありました。2007年は、データ提供者は232名で過去最高となりました。2007年の二酸化炭素排出量は、平均で6,323kgで前年比 3.7%でした。また、5年間継続してデータ提供している58世帯では、毎年二酸化炭素排出量を削減し、2007年は2003年比で 10.6%でした。現在、環境家計簿レポート2007を作成中です。

講座部会の報告がありました。エコファミリー講座・環境講座・テーマ別講座のふりかえりを行い、2008年度の方向について論議しました。

アースディ企画について報告がありました。4月26日(土)に百間川をフィールドに、自然にしみながら、地球環境について考えます。

自然環境部会の部会報発行の論議状況が報告されました。「情報交流誌」と「研究誌」の2つの発行が望ましいが、まずは「情報交流誌」の発行からスタートします。

2. その他

県が推進している「かんきょうひろば」運営委員会が正式にスタートしました。環境NPO・地域の団体・学校・企業・行政などが連携して交流やより効果的な環境学習の提案を行います。2008年度は、交流事業などの予算措置がとられませんでした。効果的な環境学習の提案以外でも効果がでるよう努めます。

活動支援費をもとにして実施した中高環境教育研究会の「中高生の水辺教室」の報告がありました。

「成果」や「問題点」が明確になるような報告書にした方がよい、助成の活動性を市民活動発展や行政への働きかけの起点にすることが大切、助成金のみで企画を計画している団体への助成の可否などについて意見があり、助成検討会で論議することとなりました。

組織図を再度明らかにし、今後の方向性を明らかにするため、総合政策検討会を開催することを確認しました。

〔協議・決定事項〕

- 2007年度の事業活動報告があり確認されました。会員数は232でした。個人会員・団体会員は昨年とほぼ同様ですが、企業会員が19減少しました。啓発事業、環境保全事業、環境団体支援・育成事業、調査・研究事業などのまとめなどが報告されました。
- 2007年度の決算報告、監査報告があり確認されました。2007年度は会費収入の減少などで、収入は予算比93.7%、前年比93.1%でしたが、支出が計画比83.3%、前年比87.6%だったため、収支は73万円の黒字となり、正味財産は約1億1383万円になりました。また、赤坂監事より、4月10日に監査を実施し「適正適法と認めた」との報告がありました。
- 公益法人改革の動向が報告され、これに対応する小委員会の設置が確認されました。委員には、秋山理事・青山理事・大田理事・清水理事・檜山評議員が選任されました。
- 役員改選にあたり、別紙名簿の通り理事17名・評議員・監事2名が推薦され、全員新しい役員として選任されました。

以上